

## 教職員の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止が我が国の最重要課題となっている今日、全都道府県を対象に緊急事態宣言が発せられ、多くの幼小中学校が臨時休業となっています。

この臨時休業の措置は、子供たちの安全・安心を守るため、学校関係者にとって苦渋の決断であります。この前例のない状況の中で、できる限りの子供たちの学習機会の保障や心のケアなどに取り組んでいただいている教職員の皆様に心よりの敬意をお伝えします。

子供たちが未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育むために、学校教育は不可欠であり、子供たちの学びを止める訳にはいきません。

このことを踏まえ、臨時休業により学校に登校できない子供たちへの支援について、皆様のより一層のご尽力とご協力をお願いするものです。

1 子供たち、保護者、地域の皆様は、学校という存在の大きさと重要性に改めて認識いただいていると思います。特に、子供たちの学びの保障と心のケアについては、学校に期待するものが大きいものがあります。学校においては、引き続き、電子メール等の ICT や電話、郵便、家庭訪問等のあらゆる手段を活用して、できる限り児童生徒に寄り添っていただき、学習面や心のケアの観点から様々な手段により、創意工夫をこらしてできる限りの対応を行っていただくようお願いします。

2 今般のように度重なる臨時休校により、子供たちが学校に登校できないという特殊な状況下では、子供たちの学びを少しでも保障するため、自宅学習を含め ICT を活用することは有効な手段です。一方で、本町の学校現場の情報化にはまだ遅延があり、一日も早く一人一台、双方向通信、遠隔学習が可能な環境を実現しなければなりません。

ただし、家庭で学習できる ICT 環境が未整備な状況下においても、何ができるか、どこまでできるかを全教職員の全叡智を結集して、方法を見つけ出しましょう。

子供たちは、先生方の笑顔と優しい声を毎日待っています。短い動画でも元気を与えられます。短い文章でもやる気を促します。ぜひ、毎日、先生方の心を伝えてください。

3 現在、臨時休業は5月6日までとなっていますが、感染拡大の状況は先行き不透明で、いつまで繰り返されるかわかりません。新型コロナウイルスとの戦いは、何か月続くかもわかりません。その間、「PCは苦手だ。」「わからない。」とは言っておられません。

先生方一人一人が責任をもって、子供たちに毎日伝えていくことこそ、いま必要だと思います。新型コロナウイルス感染症の終息を見る時、必ずや学校教育においては、一層進化した ICT 活用の学びが誕生していると思います。

先生方の取り組みが子供たちの学びと心のケアを支え、健やかに育つことを確信し、共有したいと考えます。

令和2年4月23日

安芸太田町教育委員会  
教育長 二見吉康

